

事務事業及び予算の執行実績（令和6年度分）
一部、令和7年度分を含む

静岡県立富士宮北高等学校

富士宮市宮北町230番地

電話 0544 - 27 - 2533

F A X 0544 - 23 - 8021

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	20
学校施設の概要	21
在籍生徒調	23
入学志願者及び入学者数調	24
卒業生の動向調	25
生徒の状況	26
授業料収納状況調	27
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	28
預金調	29
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	30
委託料に関する調	31
負担金支出調	33
建築工事調	34
公有財産調	36
借地借家等調	37
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	39
行政財産貸付・使用許可調	40
主要備品調	42
職員調	43
職員の年齢調	46
健康管理	47

事務事業の概要

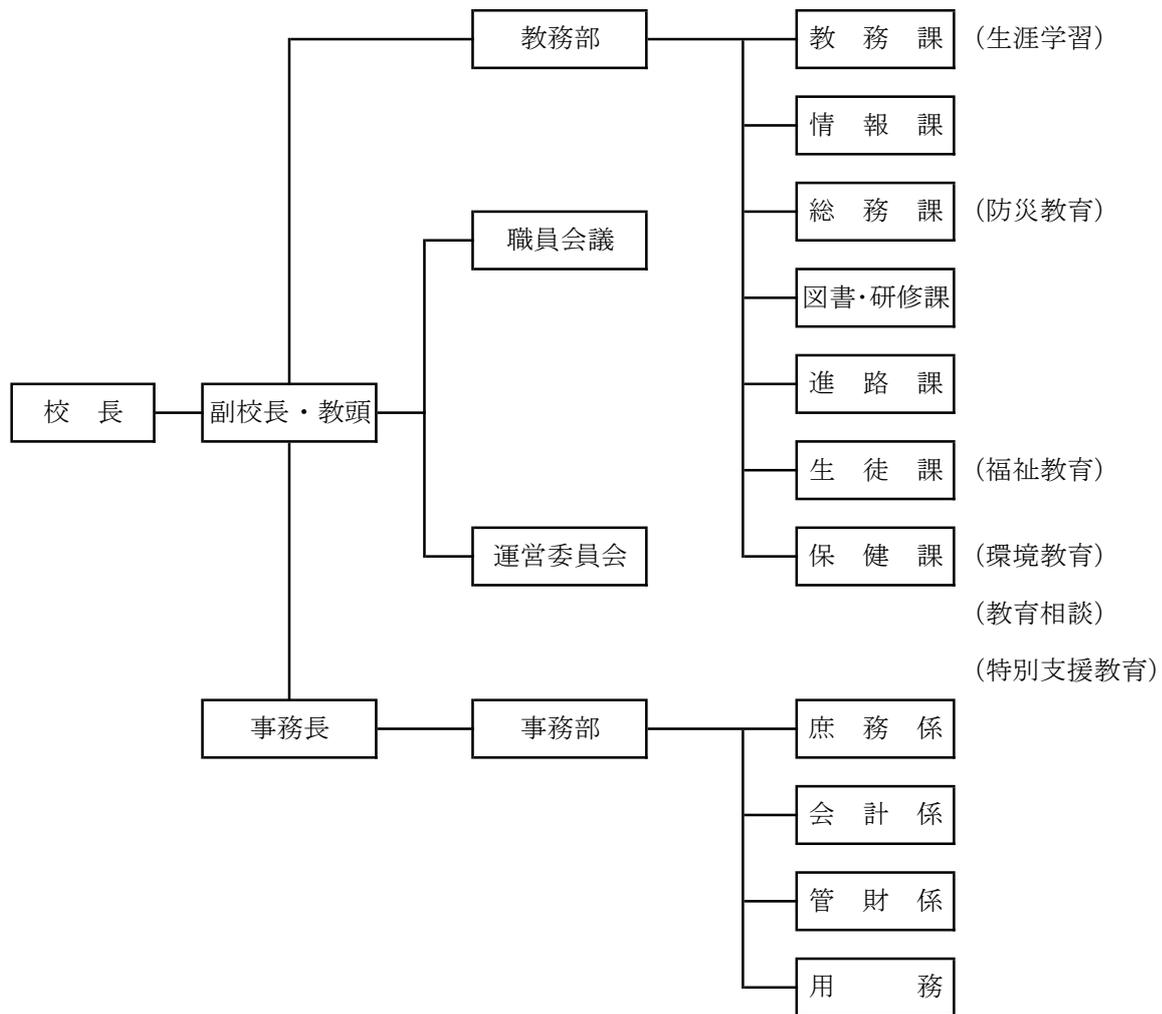
1 概況

(1) 学校の沿革

- 昭和 12. 3. 22 本校創設者望月軍四郎氏が、財団法人大宮育英財団の設立を計画し、富士郡大宮町 2,300 番地に校地 116,655 m² (35,350 坪) を買収した。
- 昭和 12. 11. 17 静岡県大宮工業学校（応用化学科、定員 250 人）、及び静岡県大宮商業学校（定員 500 人）が設立された。
- 昭和 17. 12. 3 富士郡大宮町市制施行により富士宮市となり、富士宮工業学校、富士宮商業学校と校名変更した。
- 昭和 19. 3. 7 商業学校を廃止し、工業学校の応用化学科を工業化学科に改め、機械科を増設した。定員 500 人
- 昭和 21. 4. 1 商業学校を復元した。
- 昭和 23. 4. 1 学制改革により新制高校となり、富士宮実業高等学校と校名変更した。定員、工業化学科 150 人、機械科 150 人、商業科 300 人
- 昭和 28. 4. 1 静岡県に移管し、静岡県立富士宮北高等学校と校名変更した。定員、全日制課程普通科 300 人(各学年 2 学級)、商業科 450 人(各学年 3 学級)
- 昭和 36. 5. 26 体育館完成
- 昭和 38. 4. 1 入学定員、普通科 200 人(4 学級)、商業科 200 人(4 学級)
- 昭和 43. 4. 1 入学定員、普通科 192 人(4 学級)、商業科 192 人(4 学級)
- 昭和 44. 4. 1 入学定員、普通科 188 人(4 学級)、商業科 188 人(4 学級)
- 昭和 45. 3. 30 新校舎、普通教室、特別教室、本館完成
- 昭和 45. 4. 1 入学定員、普通科 184 人(4 学級)、商業科 184 人(4 学級)
- 昭和 46. 4. 1 入学定員、普通科 180 人(4 学級)、商業科 180 人(4 学級)
- 昭和 49. 4. 1 入学定員、普通科 225 人(5 学級)、商業科 180 人(4 学級)
- 昭和 49. 7. 1 プール完成
- 昭和 52. 3. 31 普通教室（2 教室）増築
- 昭和 53. 4. 1 女子生徒が入学し、男女共学となる。
- 昭和 55. 4. 1 入学定員、普通科 270 人(6 学級)、商業科 180 人(4 学級)
- 昭和 56. 3. 10 特別教室（家庭科室）完成
- 昭和 56. 4. 1 入学定員、普通科 225 人(5 学級)、商業科 180 人(4 学級)
- 昭和 57. 4. 1 入学定員、普通科 180 人(4 学級)、商業科 180 人(4 学級)
- 昭和 58. 4. 1 入学定員、普通科 225 人(5 学級)、商業科 180 人(4 学級)
- 昭和 58. 8. 31 本館耐震補強工事完成
- 昭和 62. 3. 20 普通教室（美術室）完成
- 昭和 62. 4. 1 入学定員、普通科 270 人(6 学級)、商業科 180 人(4 学級)
- 昭和 62. 11. 14 創立 50 周年記念式典、記念庭園完成
- 平成 元. 10. 31 相撲場完成
- 平成 2. 3. 15 第二体育館完成
- 平成 3. 4. 1 入学定員、普通科 225 人(5 学級)、商業科 180 人(4 学級)
- 平成 3. 8. 2 全国高校総合体育大会相撲競技会場（8/2～8/4）となる。
皇太子殿下下行啓
- 平成 5. 4. 1 入学定員、普通科 215 人(5 学級)、商業科 172 人(4 学級)
新制服制定
- 平成 6. 4. 1 入学定員、普通科 210 人(5 学級)、商業科 168 人(4 学級)
- 平成 7. 4. 1 入学定員、普通科 205 人(5 学級)、商業科 164 人(4 学級)
- 平成 8. 4. 1 入学定員、普通科 200 人(5 学級)、商業科 160 人(4 学級)
- 平成 9. 11. 19 創立 60 周年記念式典
- 平成 13. 4. 1 入学定員、普通科 200 人(5 学級)、商業科 120 人(3 学級)
- 平成 14. 5. 31 普通教室棟耐震補強工事完成

- 平成 16. 4. 1 入学定員、普通科 160 人(4 学級)、商業科 120 人(3 学級)
- 平成 18. 5. 30 北嶺館寄付受納
- 平成 19. 4. 1 入学定員、普通科 160 人(4 学級)、商業科 80 人(2 学級)
- 平成 19. 5. 31 特別教室棟、西昇降棟、東・西渡り廊下棟耐震補強工事完成
- 平成 19. 11. 2 創立 70 周年記念式典
- 平成 22. 4. 1 入学定員、普通科 200 人(5 学級)、商業科 80 人(2 学級)
- 平成 23. 4. 1 入学定員、普通科 160 人(4 学級)、商業科 80 人(2 学級)
富士特別支援学校富士宮分校開校による「共生・共育」開始
- 平成 26. 4. 1 「学校防災推進協力校」に指定(2 ヶ年)
- 平成 29. 11. 22 創立 80 周年記念式典
- 令和 2. 4. 1 入学定員、普通科 120 人(3 学級)、商業科 80 人(2 学級)
- 令和 3. 6. 2 「オンリーワン・ハイスクール」I 類に指定(3 ヶ年)
- 令和 6. 7. 25 「行きたい学校づくり」推進事業富士地区拠点校に指定(3 ヶ年)
- 令和 7. 2. 28 普通教室棟(新)完成
- 令和 7. 6. 6 「令和 7 年度高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金(高等学校DX 加速化推進事業、略称 DXハイスクール)交付決定

(2) 組織図



(各種委員会)

- ・ 学校保健委員会
 - ・ 学校職員衛生委員会
 - ・ 特別支援教育校内委員会
 - ・ 校内コンプライアンス委員会
 - ・ いじめ防止対策委員会
 - ・ 防災管理委員会
 - ・ 学校施設開放委員会
 - ・ 学校関係者評価校内委員会
 - ・ 総合的な探究の時間推進委員会
 - ・ ICT活用推進委員会
 - ・ 教育課程検討委員会
 - ・ 交通安全委員会
 - ・ 富士特別支援学校富士宮分校共生・共育委員会
 - ・ 修学旅行検討委員会
 - ・ 生徒指導委員会
 - ・ 部活動顧問会
 - ・ 部活動検討委員会
- ※人権教育は地歴・公民科が担当

2 目指す学校像

(1) スクールミッション

「覇気・信念・明朗」の校訓のもと地域で活躍する多くの人材を輩出してきた伝統校として、「文武両道」の精神で勉学と部活動に全力で取り組む教育活動や、実践的な商業教育、富士山の恵みを活かした探究学習、地域と連携した国際理解教育などを通して、地域社会の発展に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指す。

(2) スクールポリシー

ア グラデュエーション・ポリシー

～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～

- ・ 探究的な学習に主体的に取り組み、自分の進路実現を成し遂げる力【覇気】
- ・ 自分の意見をしっかりと持ち、相手にわかりやすく伝えることができる力【信念】
- ・ 「文武両道」の精神で、明るく、前向きに、何事にも積極的に取り組むことができる力【明朗】
- ・ 多様な価値観を受け入れ、国際的な視野を持ち、地域の課題に関心を持って、社会に貢献しようとする力【グローバル人材】

イ カリキュラム・ポリシー

～本校ではこのような学びを行います～

- ・ 一人一台情報端末を効果的に活用しながら、総合的な探究の時間（タンタンタイム）の充実を図ります。
- ・ 個人の調べ学習や、グループでの調査研究発表の機会を増やします。
- ・ 生徒主体の学校行事活動、環境美化作業などのボランティア活動を積極的に実施します。
- ・ 地域社会と連携した教育や、国際的な視野を広げる教育活動を行います。
- ・ 普通科では、文系・理系選択及び商業科目も含んだ多様な科目の選択を可能とし、習熟度別の授業を実施することで、個々の進路目標に応じた学習の充実を図ります。
- ・ 商業科では、資格や検定等の取得により商業に関する基礎的な知識・技術の習得を図ります。また、企業や地域と連携した授業など、実学を重視した活動を行います。

ウ アドミッション・ポリシー

～本校ではこのような生徒を求めています～

- ・ 自分の夢の実現に向かって努力し、進路実現を図ろうとする生徒
- ・ 明るく自主的に学習や委員会活動、部活動等に取り組む生徒
- ・ 地域社会や国際的な問題に関心があり、主体的に探究的な学習に取り組みたい生徒
- ・ 普通科においては自ら進んで勉学に励み、高い学力を身に付けたい生徒
- ・ 商業科においては商業に関する分野に関心があり、多くの資格や検定を取得し、社会に貢献できる力を身に付けたい生徒

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「服装・頭髪指導がしっかりしている」「マナーがよい」保護者評価が各90%以上 ・ 登校指導 40 日、昼巡視 20 日を通して挨拶、声掛けの励行 ・ 交通事故 10 件以内 ・ 交通安全教室 4 月に実施 ・ ケイタイマナー教室 1 回実施、授業、LHR 等で生徒自らが情報モラルを考え 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者評価が「服装・頭髪指導がしっかりしている」97%(+4%)、「マナーがよい」97%(+12%) ・ 昨年度低下したが一昨年度よりも高い評価となった。しかし教員評価は下がった。駐輪指導は改善して成果が出た。 ・ 登校指導 5 日(±0 日)、昼巡視 29 日(-1 日)、下校指導 4 日(±0 日)実施し挨拶の励行、携帯マナー指導を行った。 ・ 交通事故 13 件(+2 件) ・ 交通安全教室 4 月に実 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果目標は達成できている。全体的に落ち着いている。時代と共に校則等を変えていかなければならない中で、教員・生徒・保護者の共通理解が定着するまでが難しく今後の課題である。 ・ 昨年に引き続き、自転車指導カードを受ける生徒が増加。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		る時間の実施	施できた ・ケイタイマナー教室 1 回夏休み前に実施。		
		・「教職員は、悩みなどの相談（いじめ含む）にのってくれる」生徒評価 90%以上 ・特別支援が必要な生徒への適切な配慮と支援の実施	・「教職員は悩みなどの相談にのってくれる」生徒評価 91% ・特別支援教育の職員研修の実施、2名の生徒のケース会議を実施、富士宮分校職員との情報交換等を実施した	A	・教育相談や特別支援教育の職員研修を継続して行っていく。 ・特別支援については、富士宮分校のセンター的機能を活用し、連携を図る。 ・相談室については、引き続き開けた相談室を目指す。
		・行事（創立記念行事・式典等）を通じた校訓・校歌の理解・浸透	・式典、集会、創立記念講演会等を通じて、生徒は校訓に対する理解を深めることができた。 ・応援団長の指揮で校歌を歌った。	A B	・校訓の理解を深める指導を継続的に行う。 ・2年後の創立記念講演会に向けて、検証と準備を早めに進めたい。 ・式典の際に、更にしっかりと声を出して校歌が歌えるようにしたい。
イ	探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。	・「分かりやすく学力が付く授業」85%以上 ・「自らの考えを表現できる生徒」60%以上 ・一日平均普通科 90分以上、商業科 60分以上 ・放課後の有効活用（委員会等の会議設定、学習指導、検定対策、部活動等）の実現に向けた教育課程検討委員会を実施する。	生徒 92% 保護者 89% 生徒 33% 普通科 147.1分 商業科 93.7分 教育課程検討委員会の年5回実施	A C B B	・ICTの活用も進み、生徒が理解を促す教材が提供できている。 ・場面の創出はできているが、生徒はできていないと感じている。他項目の結果向上と関連させ、改善を図りたい。 ・学習時間の確保はできているが習慣化に課題がある。課題等を通じ家庭学習の習慣化を促したい。 ・放課後の時間の有効活用について考えることができた。進路目標等の明確化を図り、学習時間の向上、放課後の時間の活用の仕方を検討したい。
		・ICTを活用した授業の実施率 80%以上	・ICTを活用した授業の実施率は約 84.3%	A	全クラスでICTを活用した授業が行われている。探求的な学習では、生徒及び教職員のICTに関する技術力が高くなっているが分かる。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		<ul style="list-style-type: none"> 「主体的対話的で深い学びの実現に結びつく授業改善に取り組んでいる」職員評価 90%以上 新課程における適切な観点別評価の実施 100% 授業公開週間を年2回以上実施 生徒による授業改善のためのアンケート実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的対話的で深い学びの実現に結びつく授業改善に取り組んでいる」職員評価 89% 授業研修週間を1、2学期に1回ずつ実施 生徒による授業改善のためのアンケートを1、2学期に1回ずつ実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は81%だったので、伸びている。生徒や保護者のアンケート結果はそれぞれ92%、90%のため、良好だと考える。 授業参観率がなかなか伸びない。先生方に負担なく、授業参観ができるための方策を考えていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 充実した探究学習の実施 充実した内容の実施に向けての検討委員会の実施5回 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より系統立てた内容となった 委員会全員で集まることは少なかったが、学年主任の先生方や学年担当の先生方とは、随時打ち合わせを行った。 	A B	<ul style="list-style-type: none"> 系統立てた内容への改善、5テーマの見直しなど、前年度より充実した内容となった 「行きたい学校づくり」推進事業で他校から学んだ内容を共有し、本校でも生かせるようにする。
ウ	学んだ知識や技能を実際に活用した実践的商業教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 対外的な商業活動20名以上 3年の課題研究発表会の実施 商業科2級以上取得95%以上、1級3種目以上取得20%以上 「授業等で実践的な取組ができた」と答える生徒70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 観光コンテスト参加、富士宮市と連携したネパール文具寄付活動、日本高校会議所総会で発表など20名以上の生徒が対外的な活動をした。 課題研究発表会1月実施。 2級以上取得79/81人98% 1級3種目以上取得28/81人35%（令和4年入学生2025.1.10現在） 「授業等で実践的な取組み」生徒肯定評価80%（令和4年入学生） 	A	<ul style="list-style-type: none"> 対外的な活動や発表に向けた活動を通して、持続可能な取組や商業の見方、考え方を養うことができた。 充実した課題研究発表会が実施できた。代表班は県商業教育研究会の課題研究発表大会（動画提出）に参加した。 積極的に各種検定に挑戦し、合格する生徒が多く、学習の成果が合格率に反映された。しかし2名の生徒が2級以上に合格できなかった。 8割の生徒が「実践的な取組ができた」と実感する授業を实践した。
		<ul style="list-style-type: none"> 外部人材による講演会の実施 商業科体験入学会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 弁理士による知的財産権講座、起業家、市議会議員、大学陸上部コーチ等による講演・講座を実施。 商業科体験入学会では簿記と情報の講座で体験授業を実施。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師や富士宮市と連携した活動を通して、生徒の思考力を深めることができた。外部講師との連携方法は課題である。 中学生・保護者に商業科の魅力について周知できた。来年

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					度は授業内容（科目）を検討していきたい。
エ	自己理解・目的意識を高め、系統的な指導を通して個に応じた進路実現を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 校外模試偏差値 50 以上が 1・2 年で 20 人以上、3 年で 10 人以上 「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価 90%以上、保護者肯定評価 80%以上 「進路決定先満足度」3 年生肯定評価 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 3 年生 11 月共催マーク模試では国英歴文系成績で偏差値 50 以上が 8/22 名、数理英理系成績で 3/23 名、2 年生 11 月総合記述模試国数英総合 17/105 名、1 年生 11 月総合記述模試国数英総合 16/120 名であった。合計人数は 44 名。 「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価 89.42%以上、保護者肯定評価 88.9%以上 「進路決定先満足度」3 年生肯定評価 93%以上 	B	概ね目標が達成されているが、教員負担は年々増加している。取り組み方を変えていく必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路意識を向上させるため、学期に 2 回以上自らの行動を記録させ、学期に 1 回程度内容を振り返ることで、その後の行動が主体的で意識的になること 「学びの基礎診断」としての測定ツールを活用し、学年等で検討会を実施し、進路指導に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの基礎診断」として、スタディーサポートを例年実施しており、ベネッセによる結果の見方や情報共有を学年ごと実施した。 	C	日々の活動をポートフォリオにまとめることは、進路よりも探求活動においてなされている。来年以降は取り組み方法の変更が必要。
		<ul style="list-style-type: none"> 新しい入試に対する情報を収集し、その結果を生徒に伝える機会を学期 1 回程度持つことで、生徒と教員の情報共有ができること 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から共通テストに組み込まれる教科「情報」については、専門教員がいない中で、外部から情報を集めたり、生徒に問題集を薦めたりするなどした。また、情報課の先生方の協力も得られ、勉強会を実施できた。 	A	教科「情報」の専門教員がいないため、対策が難しいのは来年以降も変わらない可能性が高い。固定的な方法を考えていく必要がある。
オ	多様な活動への参加を通して、自己有用感・達成感、豊かな人間性、共生意識、社会的資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 「充実した部活動により人間性が高められた」と答える生徒 85%以上 ボランティア活動に参加 40%以上 生徒会を中心としたボランティアの参加 4 回以上 生徒会の生徒を中心としたランチミーティングの実施…年間 10 回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 「部活動に参加し、人間性が高められた」生徒評価 89%(±0%) 「ボランティア活動に参加した」生徒評価 47%(+7%) 生徒会を中心としたボランティア参加 4 回実施。 生徒会の生徒を中心としたランチミーティングの実施 10 回。校長とのランチミーティングはう 	A	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は達成できている。部活動、生徒会ともに例年より充実していたのではないか。 地域河川清掃は約 70 名の生徒が参加し、事後アンケートでは将来自分の住んでいる地域に貢献したいという気持ちが高まったという生徒が 99.5%であった。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		・よりよい学校づくりや校則の見直し等に、生徒が積極的に参画する経験を通して、物事が成就する過程を経験させ、自己肯定感の高揚を図る。	ち7回 ・生徒会を中心としたスローガンの作成を実施。 ・生徒総会で文化祭のルール of 改正案を可決し、施行した。		・スローガンの作成を継続し、自主性を高めていく。 ・ランチミーティングを通して生徒会行事やルールなどについて考える機会が増え、自主性が芽生えた。
		・朝読書を時間通り始めているクラス 100% ・奨励図書 of 生徒公募、ビブリオバトル活動の継続 ・図書貸出全校で 1,000 冊以上	・ビブリオバトルの取り組みは良好である。 ・ブックフェア、図書購入、読書週間を行った。 ・図書貸出冊数は、全校で 720 冊だった。	B	図書貸出数は目標に達することができなかったが、昨年度は 490 冊だったので、大幅に増加した。
		・「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてキレイである」職員評価 60%以上	・「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてキレイである」職員評価 49%	C	・校舎建て替えによる新たな清掃分担の作成と共に、新たな清掃用具の導入の検討 ・ゴミ分別の推進
		・分校との交流 20 回以上 ・富士宮分校生徒とのプランターの植栽活動の実践（年 1 回以上）	・分校との交流は庭園・美化委員会による植栽活動 2 回清掃交流の実施、保健委員会による合同保健委員会 2 回実施することができた。北嶺祭体育の部等も含めて、全体で交流等を 20 回以上行うことができた。	A	・来年以降も継続して、富士宮分校との交流を図りたい。 ・大月線の花植えについては、時期と回数を検討し、実施していく。 ・本年度、新たに分校と本校の職員による合同共生委員会を開催し、交流時期や実施方法について担当者間で確認ができた。 ・同世代との交流を通して、お互いを認め尊重し合う心を育てることができた。
カ	外部諸機関・地域との連携や積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。	・教職員向け校内研修 2 回以上 ・生徒の地域防災参加 60%以上	・職員向けに、防災の校内研修を 2 回行った。 ・生徒の地域防災参加率は昨年同様 33%だった。 ・「防災訓練等で生徒の防災意識が高まっている」が生徒 91%、保護者 87%、職員 95%に伸びた。	A B A	・効果的な訓練、教育、研修を継続する。 ・次年度は、新校舎からの避難経路を生徒に確認させる。 ・生徒の地域防災参加率は、目標数値の見直しも必要か。
		・一日体験入学アンケート、満足度 70%以上 ・魅力的な体験入学および公開授業の実施	中学生 97% 保護者 98% アンケート高評価 中学生 100%	A A	満足度は非常に高かった。部活動の公式戦で公欠の生徒が多かったので日程調整で対応する。 商業科の体験授業で

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					本校の授業の魅力を伝えられている。今後も継続していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 効果的な広報資料の作成と中学校訪問年3回実施による志願者の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 広報用の資料やスライド改善 Instagramの開設 中学校説明会8校実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> 商業科に重点をおいた学校説明は手ごたえがあった。 Instagramはフォロワー数が1000人に達した。
		<ul style="list-style-type: none"> 月4回以上のホームページの更新 Instagram等によるタイムリーな配信（「北高ニュース」をリアルタイムで配信する） P T A、学校後援会及び同窓会との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域や保護者に積極的に情報発信をしている」が、保護者83%、職員97%と伸びた。 ホームページをリニューアルして見やすくなった。 新規にInstagramを導入、1/16現在の投稿数327件、1カ月当たりの閲覧回数約15万回。 「本校のP T Aは活発である」が保護者95%と伸びた。 P T A役員会等のシステムを変え、役員会が円滑に進むようになった。 P T Aの各委員会が活発に活動するようになった。 	A A A	<ul style="list-style-type: none"> ホームページは今後も毎年しっかりと更新していく必要がある。 Instagramは今後もタイムリーな内容の発信を継続したい。 P T A活動の見直しと活性化を更に進める。 P T A、後援会、同窓会との連携を更に進める。
キ	教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修参加95%以上、満足度80%以上 事例研究、グループ研修を年3回以上実施 校外研修の報告することで情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修参加率、満足度ともに95%以上だった 指導力向上のための校内研修に積極的に参加している89% チーム研修を4回実施 1月末に「総合的な探究の時間」の先進校視察予定 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員が満足する有益な研修を今後も行う。 実際に視察は1校のみだったが、「行きたい学校づくり」事業で他校の取り組みを学ぶことができた。
		<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス委員会を年3回開催し、職場環境や教職員の勤務状況を把握して適切に対応 コンプライアンス通信を配布し注意喚起 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス委員会を年3回開催 コンプライアンス研修は毎月実施し、さらに「懲戒処分の公表について」のタイミングに合わせて朝の打合せ時にもミニ研修を実施できた。 2件の教員による不祥事が起こってしまった。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 2件の教員不祥事が起こってしまった。 教職員がコンプライアンスを自分事として捉える工夫が必要である。
		<ul style="list-style-type: none"> 各教室への消毒設置100% 感染症・熱中症の注意喚起を年3回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各教室への消毒設置100% ほけんだよりや掲示物により、感染症・熱中症の注意喚起を学期に1回 	A	<ul style="list-style-type: none"> 本年度もインフルエンザの流行がみられた。来年度以降も、状況に応じて予防接種の推奨等、適

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
			以上実施することができた		切に指導していく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・監査等における指摘事項0件 ・光熱水費の前年比増10%以内（空調稼働分の節約） ・学校運営に係る予算について前年比10%節約 ・施設設備安全点検月1回以上により、事故発生件数0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・監査等における指摘事項はなく、達成できた。 ・特別教室の空調等設備の増加やコロナ明けの活動再開を受け光熱水費の増加は10%を超えてしまった。 ・施設設備安全点検は都度行うも、側溝のふたの破損による事故が1件発生してしまった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法令に則った事務処理が適正に行うことができている。継続して対応していく。 ・生徒活動が活発化し、学習環境整備のために施設は増加している。熱中症予防等、有効に活用することは推進すべきだが、消し忘れ等の無駄遣いをなくし、メリハリのある利用を周知していく必要がある。 ・事故の個所は速やかに補修した。安全点検や職員の意見・報告を受けて安心・安全な教育環境を提供する。
ク	教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの結果が県平均より良好 ・職員会議は協議事項の意見交換を主として、連絡事項は分かりやすい資料の配布で簡略化 ・業務のデータを活用した効率的な業務の実施、次の担当者のために業務のマニュアル化 ・定期テスト監督の平準化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの結果は県平均より良かった。 ・管理職打合せや運営委員会のペーパーレス化を実現できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・会議のペーパーレス化や、入試業務の簡素化など事務処理レベルの改善は進んだものの、直接、業務の精選やワークライフバランスに繋がっているかどうか、分かりにくい。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な頭髪・服装指導 ・挨拶・声掛けの励行 ・集会や行事を通じた規範・帰属意識の醸成 ・交通安全の啓発 ・情報モラル教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「服装・頭髪指導がしっかりしている」「マナーがよい」保護者評価が各90%以上 ・登校指導3日、昼巡視20日を通して挨拶・声掛けの励行 ・交通事故10件以内 ・交通安全教室4月に実施 ・ケイタイマナー教室1回実施、授業、LHR等で生徒自らが情報モラルを考える時間の実施 	生徒課
		<ul style="list-style-type: none"> ・校内連携、生徒情報の共有 ・教育相談の機能性の 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職員は、悩みなどの相談（いじめ含む）にのってくれる」生徒評価90%以上 	保健課

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
		向上 ・特別支援教育の推進	・特別支援が必要な生徒への適切な配慮と支援の実施	
		・校訓の精神を理解・体現	・式典等の行事を通じた校訓・校歌の理解・浸透	総務課
イ	探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。	・授業内容が分かり理解でき学力が付く授業の推進 ・自らの考えを表現させる場面の創出 ・家庭学習時間の充実 ・教育課程の見直し	・「分かりやすく学力が付く授業」85%以上 ・「自らの考えを表現できる生徒」50%以上 ・一日平均普通科90分以上、商業科60分以上 ・「家庭学習が習慣化している」70%以上 ・放課後の有効活用（委員会等の会議設定、学習指導、検定対策、部活動等）の実現に向けた教育課程検討委員会を実施する。	教務課 副校長 教務課 教科主任
		・ICTを活用した分かりやすい授業の推進	・ICTを活用した授業の実施率80%以上	情報課
		・新学習指導要領に対応した主体的対話的で深い学びの実現、観点別評価の実施 ・授業公開/見学の励行	・「主体的対話的で深い学びの実現に結びつく授業改善に取り組んでいる」職員評価90%以上 ・新課程における適切な観点別評価の実施100% ・授業公開週間を年2回以上実施 ・生徒による授業改善のためのアンケート実施	図書研修課
		・「総合的な探究の時間」における探究プロセスの構築と実施 ・実践校の事例研究と職員研修	・充実した探究学習の実施 ・充実した内容の実施に向けての検討委員会の実施5回	総合的な探究の時間
ウ	学んだ知識や技能を実際に活用した実践的商業教育を推進する。	・対外的な商業活動への積極的参加・運営 ・課題研究の発表会の実施 ・系統的な検定/資格指導 ・ICTを活用した実践的授業等の展開	・対外的な商業活動20名以上 ・3年の課題研究発表会の実施 ・商業科2級以上取得95%以上、1級3種目以上取得20%以上 ・「授業等で実践的な取組ができた」と答える生徒70%以上	商業科
		・地域連携・外部人材活用による商業的活動の実施	・外部人材による講演会の実施 ・商業科体験入学会の実施	
エ	自己理解・目的意識を高め、系統的な指導を通して個に応じた進路実現を支援する。	・入学試験合格のための実力の伸長 ・個別指導の機能向上・組織化 ・進路選択のための的確な進路の情報収集と提供	・校外模試偏差値50以上が1・2年で20人以上、3年で10人以上 ・「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価90%以上、保護者肯定評価80%以上 ・「進路決定先満足度」3年生肯定評価90%以上	進路課
		・生徒の自己実現＝キャリアデザインに繋がる進路指導（進学・就職）を実現する。 ・「学びの基礎診断」	・生徒の進路意識を向上させるため、学期に2回以上自らの行動を記録させ、学期に1回程度内容を振り返ることで、その後の行動が主体的で意識的になること ・「学びの基礎診断」としての測定ツ-	

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> としての測定ツールの活用と検討 新しい入試に対する積極的な情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ルを活用し、学年等で検討会を実施し、進路指導に活用する。 新しい入試に対する情報を収集し、その結果を生徒に伝える機会を学期1回程度持つことで、生徒と教員の情報共有ができること 	
オ	<p>多様な活動への参加を通して、自己有用感・達成感、豊かな人間性、共生意識、社会的資質・能力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 充実した部活動による人間性の涵養 「一人一役」ボランティアの推進 社会貢献活動の参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> 「充実した部活動により人間性が高められた」と答える生徒85%以上 ボランティア活動に参加40%以上 生徒会を中心としたボランティアの参加4回以上 	生徒課
		<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書を時間通り始めているクラス100% 奨励図書を生徒公募、ビブリオバトル活動の継続 図書貸出全校で1,000冊以上 	図書研修課
		<ul style="list-style-type: none"> 美化/清掃活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてキレイである」職員評価60%以上 	保健課
		<ul style="list-style-type: none"> 共生・共育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 分校との交流20回以上 富士宮分校生徒とのプランターの植栽活動の実践(年1回以上) 	共生・共育委員会
		<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感・自己有用感を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会の生徒を中心としたランチミーティングの実施…年間10回以上 よりよい学校づくりや校則の見直し等に、生徒が積極的に参画する経験を通して、物事が成就する過程を経験させ、自己肯定感の高揚を図る。 	校長 教頭 生徒課
カ	<p>外部諸機関・地域との連携や積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 校内防災体制の点検・整備 地域防災組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員向け校内研修2回以上 生徒の地域防災参加50%以上 「防災訓練等で生徒の防災に対する意識が高まっている」生徒評価90%以上 	総務課
		<ul style="list-style-type: none"> 一日体験入学・学校公開等の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 一日体験入学アンケート、満足度80%以上 魅力的な体験入学および公開授業の実施 	教務課
		<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会等の効果的实施 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な広報資料の作成と中学校訪問年3回実施による志願者の確保 	管理職
		<ul style="list-style-type: none"> 学校HP等の効果的運用 外郭団体と連携した生徒支援の計画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な時期の迅速なホームページの更新 インスタグラムによるタイムリーな配信 P T A、学校後援会及び同窓会との協力 	総務課
キ	<p>教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な校内研修の実施 実践事例に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修参加95%以上、満足度80%以上 事例研究、グループ研修を年3回以上実施 校外研修の報告することで情報共有 	図書研修課
		<ul style="list-style-type: none"> 不祥事根絶への取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス委員会を年3回開催し、職場環境や教職員の勤務状況を把握して適切に対応 コンプライアンス通信を配布し注意喚起 	管理職 コンプライアンス委員会
		<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策・熱中症対策を行い、安全な生活環境を維持 	<ul style="list-style-type: none"> 各教室への消毒設置100% 感染症・熱中症の注意喚起を年3回以上実施 	保健課

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> 適正なサービス管理・事務処理 学校経営予算の効率的な執行 施設設備の適正な維持管理、適切な安全対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 監査等における指摘事項0件 令達予算の見込みを含む第3四半期執行率85%以上 施設設備安全点検月1回以上により、施設設備の不備に起因する事故発生件数0件 	事務部
ク	教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの推進 業務の精選 勤務時間の短縮を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスチェックの結果が県平均より良好 職員会議は協議事項の意見交換を主として、連絡事項は分かりやすい資料の配布で簡略化 業務のデータを活用した効率的な業務の実施、次の担当者のために業務のマニュアル化 定期テスト監督の平準化 職員の完全退庁時間を設定 時間外勤務時間が昨年度比-5%を目指す 	管理職

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p><「行きたい学校推進事業」の1年目。総合的な探究の時間を中心に、地域から世界へ羽ばたくグローバルリーダーを育てるための取組を進めている。</p>	<p>1 取組内容（テーマ、事業名は高校教育課の指定）</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ：探究学習推進 研究事業名：県内全地区における探究コンソーシアムの構築（本校は、富士地区8県立高校の拠点校） ねらい：富士山の恵みをはじめとする地域資源を有効活用し、地域との連携を深め、探究学習を充実させることで、多様な価値観を受け入れ、国際的な視野を持ち、地域の課題に関心を持って社会に貢献しようとするグローバルリーダーを育成する。 富士地区の探究教材のデータベース化と探究学習の指導計画の作成、及びコンソーシアムを核とした地域連携の充実が目標とされる。 <p>2 成果（3年計画の1年目）</p> <p>(1) コンソーシアムが構築できた</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回コンソーシアム開催 探究学習に関する連携校間の情報共有が実現 以下の研究テーマについて確認した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 中学校の探究学習 ② キャリア形成と探究学習（自分事としてとらえ自走する生徒を育てる） ③ 地域連携と地域教材のデータベース化 <p>(2) 拠点校における指導計画と教材開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 5テーマ（観光、防災、国際、経済、福祉）の地域資源開発を進めた 探究学習の成果を踏まえた修学旅行の学習成果の充実（富士宮市と沖縄との比較） 探究学習が進路実現に及ぼす効果の研究（学年進行） 教材「探究活動の進め方」の活用について、系統立てた活用が進んだ。 探究学習の充実が及ぼす生徒の意識の変化の研究において、生徒の地域への理解や郷土愛の高まり、国際社会への興味関心が高まった。 <p>3 主な実施事業</p> <p>(1) コンソーシアム関連（11月、2月に実施）</p> <p>(2) 拠点校における計画※日付の入っている取組は実施済み</p> <p>ア 富士宮市役所や地域のNPO等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士宮市各課との連携強化（市職員による講演会実施）

年度	取組概要	成果及び課題
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のNPO等各団体との連携 イ 静岡県富士山世界遺産センターとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士山世界遺産センターと連携し、富士山に関する特別授業を実施 ・ その他事業への協力 ウ 拠点校における計画③富士宮商工会議所及び地元企業、商店街、観光業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会議所と連携し、地元企業との連携強化（商工会議所ほか関連団体による探究アドバイスを実施） ・ 地元企業からの講演講師招聘（企業講演会実施） ・ 生徒による企業訪問 ・ 地元商店街活性化への協力 エ 富士宮市の国際理解教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解のための講演会実施（防衛大教授による講演） ・ 海外高校生（米国、台湾など）とのオンライン、ペンパル交流 オ 富士特別支援学校富士宮分校との交流の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事（文化祭、体育祭等）、委員会活動（学校周辺花壇の管理）の協働実施（文化祭や体育祭を共同実施） ・ 学校保健委員会の協働実施 ・ 共生教育に関する教員間の情報交換実施 カ 富士宮市の福祉についての理解の深化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士宮市社会福祉協議会との連携（複数回実施） ・ 子育て支援についての学びの充実（地元子育て支援NPOとの連携し、母親学級への生徒参加） キ 富士山、富士宮市の防災課題の探究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士山及び富士宮市の防災課題の探究 ・ 自衛隊の協力による防災教育講演の実施 ク 探究学習の成果を土台とした商業教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業科併設の強みを活かし、簿記・情報処理等の講演・講座の実施（普通科生徒も受講可） ・ 地域経済発展のための学習の充実 ケ 探究学習の基礎となる読書活動の充実と、読解力・表現力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連図書の購入 ・ ビブリオバトルの実施 ・ 小論文講座、面接講座等の開催 コ 地域課題理解の一環としてのボランティア活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士宮市の河川清掃ボランティアへの参加 ・ その他ボランティア活動への参加支援（随時） サ 探究学習の成果を踏まえた修学旅行の学習成果の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2学年沖縄修学旅行学習と探究学習のリンク ・ 平和学習を基礎としつつ、沖縄の観光・経済・防災・福祉、国際の探究教材の研究 シ 探究学習が進路実現に及ぼす効果についての研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究学習が進路実現に及ぼす影響の調査研究 ・ アンケート調査の実施と分析 ス 探究学習の充実が及ぼす生徒の意識の変化の研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究学習の充実が及ぼす生徒の意識の変化の調査研究 ・ アンケート調査の実施と分析 セ 先進校視察 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内外の探究学習先進校の視察 ソ 探究学習及び本研究の成果の広報 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット広報の充実（Instagramの開始）、中学校への広報活動の充実
令和7年度	<「行きたい学校推進事業」 「行きたい学校推進事業」の2年目。「総合的な探究の時間」を中心	1 取組内容（令和6年度とおおむね同じ） 2 計画（3年計画の2年目） (1) コンソーシアムの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間2回のコンソーシアム開催 ・ 探究学習に関する連携校間の情報共有 ・ 探究学習に有用な地域資源、地域人材の発掘と連携校

<p>に、地域から世界へ羽ばたくグローバルリーダーを育てるための取組を進めている。</p> <p><DXハイスクール指定校></p> <p><校務DXの推進></p>	<p>間における共有検討</p> <p>(2) 拠点校における指導計画と教材開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的には前年度と同じ ・ SELの研究を実施予定 ・ 「主体的に取り組む、自走する探究学習」についての取り組み <p>3 主な実施企画（予定）</p> <p>(1) コンソーシアム関連（ 8月に第1回実施、2月に第2回を実施予定</p> <p>(2) 拠点校における計画</p> <p>ア 富士宮市役所や地域のNPO等との連携</p> <p>イ 拠点校における計画③富士宮商工会議所及び地元企業、商店街、観光業との連携</p> <p>ウ 富士宮市の国際理解教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解のための講演会実施 ・ 海外高校生（米国、台湾など）とのオンライン、ペーパー交流 ・ 外国人観光客の増加を見据えた国際理解教育の実施（地域観光業との連携 EnglishSummerCampの実施） <p>オ 富士特別支援学校富士宮分校との交流の充実</p> <p>カ 富士宮市の福祉についての理解の深化</p> <p>キ 富士山、富士宮市の防災課題の探究</p> <p>ク 探究学習の成果を土台とした商業教育の充実</p> <p>ケ 探究学習の基礎となる読書活動の充実と、読解力・表現力の向上</p> <p>コ 地域課題理解の一環としてのボランティア活動の充実</p> <p>サ 探究学習の成果を踏まえた修学旅行の学習成果の充実</p> <p>シ 探究学習が進路実現に及ぼす効果についての研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究学習の先駆者（隠岐島前高校の探究学習支援者による講演とワークショップ） ・ 探究学習が進路実現に及ぼす影響の調査研究 ・ アンケート調査の実施と分析（1回目7月実施） <p>ス 探究学習の充実が及ぼす生徒の意識の変化の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査の実施と分析 <p>セ 先進校視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かえつ有明高校への視察 <p>ソ 探究学習及び本研究の成果の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット広報の充実 ・ 中学校への広報活動の充実 <p>1 取組予定の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルスペースの環境整備 ・ 高度な情報教育体制の構築 <p>2 取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理室の端末・サーバー機器を更新し、生徒が最新のICT環境で学習できるようにする。 ・ 教員向けに情報モラル研修・AI活用研修を実施し、指導力を向上させる。 ・ 商業科授業（「ビジネス基礎」「ビジネス・マネジメント」など）で情報モラル・情報セキュリティの内容を充実 ・ 地元企業の協力で、小型ドローン活用講座などのICT機器活用講座を実施。 ・ 年間3回の学校運営協議会を開催し、地域連携を強化。 <p>1 取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C-ラーニングの導入による、校務の効率化の推進 <p>2 取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度4月から校務支援アプリC-ラーニングを導入 ・ 生徒の出欠管理、教職員の勤怠管理、生徒・保護者への連絡、会議のペーパーレス化など、多岐にわたる業務改善が進んでいる。
---	--

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

職名 区分	本務職員					本 務 計	臨時・会計年度任用職員			臨 時 計	合 計
	教育職員			行政職員			臨時職員		会計年度職員		
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	主 査		教 諭 (任)	教 諭 (臨)	部 活 動 指 導 員		
転出者	1		1	4	1	7					7
退職者				2		2		1	1	2	4
再任用 (退職)				2		2					2
転入者				5	1	6					6
新任者	1		1	1		3	1			1	4
再任用 (新任)				2		2					2
差引 増減	0		0	0	0	0	1	△1	△1	△1	△1

(2) 現員数

(令和7年4月1日現在)

職名 区分	本務職員									本 務 計	臨時・会計年度任用職員						臨 時 計	合 計
	教育職員					行政職員					臨時職員		会計年度職員					
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	主 任 実 習 助 手	事 務 長	主 査	主 事		教 諭 (任)	教 諭 (臨)	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師	部 活 動 指 導 員	非 常 勤 労 務 職 員		
男	1	1		23				1	26		1		3	1	3	8	34	
女			1	14	1	1	1	2	20	1	1	1	2			5	25	
計	1	1	1	37	1	1	1	2	46	1	2	1	5	1	3	13	59	

(3) 健康管理について

職員安全衛生委員会を中心に、職場環境の改善と職員個々の健康に対する意識を高めるよう情報提供を行う。

年 度	内 容
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職員安全衛生委員会を職員会議後に開催した。 ・教職員の健康管理について、健康診断の完全実施と再検査・精密検査の必要な教職員への受診を呼びかけた。 ・健康管理医と連携を密接に行い、教職員の個々の健康状態について、把握及び情報共有を行っている。 ・教職員に対し、感染症対策の徹底を呼び掛けるとともに、手指消毒液等の設置、職員室内の換気等を行っている。 ・教職員の心のケアは、管理職が日々、教職員の様子を観察し、校内相談員への相談も受け付けている。令和6年度は、心のケアに関する特別な対応はなかった。 ・長時間勤務者に対し、管理職による面談を実施し、状況に応じて学校医の面接を勧奨するなど、教職員の心と体の健康管理に努めている。
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職員安全衛生委員会を職員会議後に開催 ・教職員の健康管理について、健康診断の完全実施と再検査・精密検査の必要な教職員への受診を呼びかける。 ・健康管理医と連携を密接に行い、教職員の個々の健康状態について、把握及び情報共有を行う。 ・教職員に対し、感染症対策の徹底を呼び掛けるとともに、手指消毒液等の設置、職員室内の換気等を行う。 ・教職員の心のケアについて、管理職が日々、教職員の様子を観察し、校内相談員への相談も受け付ける。 ・長時間勤務者に対し、管理職による面談を実施し、状況に応じて学校医の面接を勧奨するなど、教職員の心と体の健康管理に努める。

(4) 教職員の研修について

年度	研修の目的	研修内容及び成果、課題
令和 6 年度	総合的な探究の時間の充実	<p>○校内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次研修としてのチーム研修（年間） 内容 学級経営、特別支援教育、総合的な探究 ・「総合的な学習の時間研修」総合教育センター指導主事の派遣研修（6月） ・情報関係研修 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ研修（基本編）（4月） ・Instagramの投稿法（6月） ・情報セキュリティ研修（実施手順編）（8月） ・定期訪問（10月） ・防災研修 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアル、消防（地震防災）計画書、富士山火山防災対策マニュアル（6月） 総務課 ・心肺蘇生（11月） 保健課 ・生徒による授業改善のためのアンケート結果分析（7月、11月）全教員対象 <p>○不祥事根絶のための研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故、セクハラ、体罰、不適正会計等の防止について、毎月職員会議等においてコンプライアンス研修を実施

年度	研修の目的	研修内容及び成果、課題
令和 7 年度	教員一人ひとりが考える「新しい視点」に基づ	<p>○校内研修</p> <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマと年間計画立案

年度	研修の目的	研修内容及び成果、課題
	いた授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム研修①(チーム研修の意義) 5月 第1回授業研修週間 ・ チーム研修②(主体的に学ぶ授業づくり) 7月 ・ 第1回生徒による授業改善のためのアンケート及び結果分析 ・ チーム研修③(ICT研修) 8月 ・ 各教科で「新しい視点に基づく授業改善」の話し合い 9月 ・ チーム研修④(HR運営、評価に関する研修) 10月 ・ 第2回授業研修週間、SELに関する研修 ・ チーム研修⑤(特別支援) 11月 ・ 定期訪問における研修 ・ 第2回生徒による授業改善のためのアンケート及び結果分析 12月 ・ 学校自己評価アンケート結果の共有と考察 2月 ・ 各年次研修等まとめ、振り返り、年間のまとめと評 <p>○不祥事根絶のための研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故、セクハラ、体罰、不適正会計等の防止について、毎月職員会議等においてコンプライアンス研修を実施予定

6 防災対策について

年 度	内 容
令和 6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(1回目) 4月 地震発生時の的確で迅速な対応の訓練と避難経路の確認 ・防災訓練(1回目) 9月 災害用伝言ダイヤルの説明 ・教職員防災研修 10月 災害用マンホールトイレ設営訓練 ・避難訓練(2回目) 10月 予告なしの抜打ち避難訓練(雨天のため中止) ・広域避難所運営委員会 11月 地域防災組織との防災教育推進のための連絡会議 ・防災訓練(2回目) 12月 防災講座(東部地域局による防災講座)
令和 7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(1回目) 4月 地震発生時の的確で迅速な対応の訓練と避難経路の確認 ・防災訓練(1回目) 8月 災害用伝言ダイヤルの説明 ・教職員防災研修 10月 災害用マンホールトイレ設営訓練 ・避難訓練(2回目) 11月 予告なしの抜打ち避難訓練 ・広域避難所運営委員会 11月 地域防災組織との防災教育推進のための連絡会議 ・防災訓練(2回目) 12月 防災講座

7 学校開放について

年度	施設名		利用 日数	利用日 (曜日/時間)	利用人数 (述べ人数)	種 目	利用者負担金 (電気料)
令和 6 年度	運動場	夜間	38日	金 2時間程度	522人	陸上	35,194円
		昼間	23日	土、日 2時間程度	510人	陸上	0円
	体育館	夜間	121日	月～金 2時間程度	1,763人	バスケット ボール	16,880円
	相撲場	夜間	73日	火、木 2時間程度	1,178人	相撲	10,676円
	教室	昼間	33日	土、日 3時間程度	1,231人	土曜補講・ 模試	66,792円
	計		288日		5,204人		129,542円
令和 7 年度	運動場	夜間	14日	金 2時間程度	181人	陸上	12,087円
		昼間	7日	土、日 2時間程度	221人	陸上	0円
	体育館	夜間	49日	月～金 2時間程度	732人	バスケット ボール	6,224円
	相撲場	夜間	33日	火、木 2時間程度	435人	相撲	5,331円
	教室	昼間	12日	土、日 3時間程度	593人	土曜補講・ 模試	0円
	計		115日		2,162人		23,642円

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関すること	<p>教育基本法</p> <p>学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条）</p> <p>学校教育法施行規則</p> <p>学校保健安全法（第5条）</p> <p>静岡県立学校設置条例</p> <p>静岡県立高等学校学則</p> <p>高等学校学習指導要領</p> <p>理科教育振興法（第11条）</p> <p>理科教育振興法施行令</p> <p>産業教育振興法（第18条）</p> <p>産業教育振興法施行令</p> <p>いじめ防止対策推進法</p>
2 学校の管理・運営に関すること	<p>学校教育法（第137条）</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条）</p> <p>静岡県立学校管理規則</p> <p>教育公務員特例法（第21条、第22条）</p> <p>学校保健安全法（第15条、第27条）</p> <p>独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条）</p> <p>静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程</p> <p>静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱</p> <p>学校図書館法（第3条、第4条）</p> <p>静岡県教育委員会処務規程</p> <p>高等学校等就学支援金の支給に関する法律</p> <p>静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例</p> <p>静岡県立学校授業料等徴収規則</p> <p>静岡県手数料徴収条例</p> <p>静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則</p> <p>静岡県情報公開条例施行規則</p>

学校施設の概要

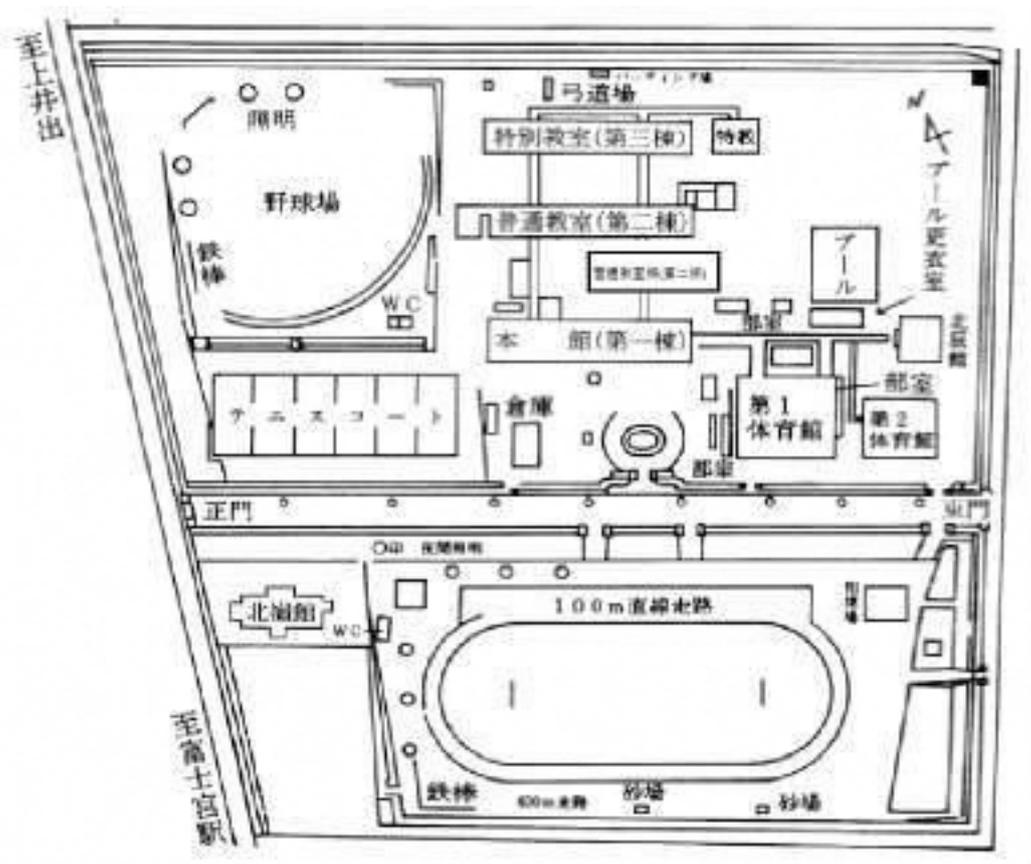
1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	108,336.72	108,336.72					
内 訳	校舎敷地	47,965.64	47,965.64				
	運動場敷地	60,367.12	60,367.12				
	その他の敷地	3.96	3.96				県知事 (富士土木)
実 習 地							
演 習 林							
校 舎	建 3,389.34 延 9,045.08	3,389.34 9,045.08					
体 育 館	建 1,952.03 延 2,040.99	1,952.03 2,040.99					
武 道 場	建 513.00 延 513.00	513.00 513.00					
その他の建物	建 3,304.81 延 3,301.85	2,257.56 2,254.60			1,047.25 1,047.25		
寄 宿 舎	建 延						
生 活 館	建 416.19 延 996.32	416.19 996.32					
プ ー ル	400	400					25m×16m 7コース
職 員 住 宅							

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	108,336.72m ²	9,045.08m ²	60,367.12m ²
県平均	45,574.48m ²	9,782.41m ²	22,506.84m ²

在籍生徒調

(令和7年7月31日現在)

学年	学科別		普通科				商業科				(合 計)			
	区別		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者		120	60	63	123	80	39	43	82	200	99	106	205
		増 加												
		減 少												
	現 在			60	63	123		39	43	82		99	106	205
2年	入学者		120	62	61	123	80	47	25	72	200	109	86	195
		増 加												
		減 少		1	1	2		1	1	2		2	2	4
	2年時当初			61	60	121		46	24	70		107	84	191
		増 加												
		減 少												
現 在			61	60	121		46	24	70		107	84	191	
3年	入学者		120	68	55	123	80	40	42	82	200	108	97	205
		増 加												
		減 少		2	1	3		1	2	3		3	3	6
	2年時当初			66	54	120		39	40	79		105	94	199
		増 加												
		減 少			1	1		2	1	3		2	2	4
	3年時当初			66	53	119		37	39	76		103	92	195
		増 加												
減 少														
現 在			66	53	119		37	39	76		103	92	195	
合 計				187	176	363		122	106	228		309	282	591

入学志願者及び入学者数調

区 分		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度	
		普通	商業	普通	商業	普通	商業	普通	商業	普通	商業
生徒定員 (A)		120	80	120	80	120	80	120	80	120	80
募集者数 (B)		120	80	120	80	120	80	120	80	120	80
志願者数	男	63	46	73	42	69	45	64	46 (1)	64	55
	女	66	39	63	45	60	46	62	25 (1)	64	53
	計 (C)	129	85	136	87	129	91	126	71 (2)	128	108
受検者数	男	63	46	73	42	69	45	64	46 (1)	64	55
	女	66	39	63	45	60	46	62	25 (1)	64	53
	計 (D)	129	85	136	87	129	91	126	71 (2)	128	108
合格者数	男	58	44	64	40	68	40	62	46 (1)	60	39
	女	65	38	59	42	55	42	61	25 (0)	63	43
	計 (E)	123	82	123	82	123	82	123	71 (1)	123	82
志願倍率 (C)／(B)		1.08	1.06	1.13	1.09	1.08	1.14	1.05	0.89	1.07	1.35
受検倍率 (D)／(B)		1.08	1.06	1.13	1.09	1.08	1.14	1.05	0.89	1.07	1.35
入学者数	男	58	44	64	40	68	40	62	47	60	39
	女	65	38	59	42	55	42	61	25	63	43
	計 (F)	123	82	123	82	123	82	123	72	123	82
充足率 (F)／(A)		1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	0.90	1.03	1.03

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		普 通			商 業			(計)		
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒業生徒数		119	119	119	79	81	81	198	200	200
(進学志願者)		(103)	(111)	(111)	(35)	(39)	(38)	(138)	(150)	(149)
内	進学者									
	大学・短大	67	65	84	11	23	18	78	88	102
	専修・各種学校等	36	46	26	24	16	19	60	62	45
	小 計	103	111	110	35	39	37	138	150	147
訳	就職者	13	8	8	43	42	43	56	50	51
	営業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	進学準備者	2	0	1	0	0	1	2	0	2
	その他	1	0	0	1	0	0	2	0	0
合 計		119	119	119	79	81	81	198	200	200

2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	56	50	50
求 人 数	673	715	789
求人倍率	12.0	14.3	15.78

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	普 通	商 業	(計)
卒業生徒数	119	81	200
日本商工会議所簿記検定	2 級	0	7
全国商業高等学校協会 簿記実務検定	1 級	0	23
	2 級	0	27
全国経理教育協会 簿記能力検定	1 級	0	1
	2 級	0	0
全国商業高等学校協会 ビジネス文書実務検定	1 級	2	19
	2 級	0	23
全国商業高等学校協会 情報処理検定	ビジネス情報部門 1 級	1	15
	ビジネス情報部門 2 級	1	40
	プログラミング部門 1 級	0	8
	プログラミング部門 2 級	1	33
日本商業高等学校協会 珠算・電卓実務検定	珠算 1 級	0	1
	電卓 1 級	0	27
	電卓 2 級	0	17
全国商業高等学校協会 商業経済検定	1 級	0	36
	2 級	0	38
日本漢字能力検定協会 漢字検定	2 級	3	0
	準 2 級	18	0
日本英語検定協会 実用英語検定	2 級	18	1
	準 2 級	58	3
全国商業高等学校協会 英語検定	1 級	0	2
	2 級	0	0
合 計	102	321	423

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

市 町 名	富士宮市	富士市	その他(県内)	その他(県外)	合計
生 徒 数	440	136	7	8	591
構 成 比 %	75%	23%	1%	1%	100%

(2) 通学方法

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分	電 車	バ ス	自 転 車	徒 歩	その他	合 計
生 徒 数	66	22	416	31	56	591
構 成 比 %	11%	4%	70%	5%	10%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分	運 動 部	文 化 部	未 加 入 者	計	
部 (ク ラ ブ) 数	15	8			
男子	1年	87	12	0	99
	2年	81	26	0	107
	3年	76	27	0	103
	計 (A)	244	65	0	309
	構成比	79%	21%	0%	100%
女子	1年	55	51	0	106
	2年	42	42	0	84
	3年	38	54	0	92
	計 (B)	135	147	0	282
	構成比	48%	52%	0%	100%
合計 (A+B)	379	212	0	591	
構成比	64%	36%	0%	100%	

(全日制)

授業料 収納状況調

(令和6年度)

期別	月別	調定の状況								収納の状況			異動者等の状況	
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額		収入 未済額
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%			
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額=2,732,400円 (92人×9,900×3月) B. 収納権利増減(▲)額=▲29,700円 (内訳) 8月31日:1年:遡及認定▲1人 1人×9,900円×3月=▲29,700円 C. 収納必要額 A(±)B=2,702,700円
	5													
	6													
	7	32	950,400	33	980,100	27	801,900	92	2,732,400	2,643,300	96.7	0	89,100	
	8	▲1	▲29,700					▲1	▲29,700	▲29,700		89,100	0	
	計	31	920,700	33	980,100	27	801,900	91	2,702,700	2,613,600	96.7	89,100	0	
二期	7													A. 期首収納権利発生額=4,653,000円 (94人×9,900×5月) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額 A(±)B=4,653,000円
	8													
	9													
	10	32	1,584,000	29	1,435,500	33	1,633,500	94	4,653,000	4,207,500	90.4	0	445,500	
	11											445,500	0	
	計	32	1,584,000	29	1,435,500	33	1,633,500	94	4,653,000	4,207,500	90.4	445,500	0	
三期	12													A. 期首収納権利発生額=3,722,400円 (94人×9,900×4月) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額 A(±)B=3,722,400円
	1	32	1,267,200	29	1,148,400	33	1,306,800	94	3,722,400	3,682,800	98.9	0	39,600	
	2											39,600	0	
	3													
	計	32	1,267,200	29	1,148,400	33	1,306,800	94	3,722,400	3,682,800	98.9	39,600	0	
合計	95	3,771,900	91	3,564,000	93	3,742,200	279	11,078,100	10,503,900	94.8	574,200	0	D. 収納必要額=11,078,100円	

(全日制)

授業料 収納状況調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

期別	月別	調定の状況								収納の状況			異動者等の状況	
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収納額		収入 未済額
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%			
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額=118,800円 (4人×9,900×3月) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額 A(±)B=118,800円 D. 収納必要額=118,800円
	5													
	6													
	7	3	89,100	1	29,700	0	0	4	118,800	118,800	100.0	0	0	
	計	3	89,100	1	29,700	0	0	4	118,800	118,800	100.0	0	0	
合計	3	89,100	1	29,700	0	0	4	118,800	118,800	100.0	0	0	D. 収納必要額=118,800円	

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年7月31日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	239	0

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
富士宮信用金庫 北支店	無利息型 普通預金	1195524	静岡県立 富士宮北高等学校 校長 小谷和之	0	給与の法定外控除
スルガ銀行 富士宮支店	無利息型 普通預金	410744	自振口 富士宮北高等学校 資金前渡者 小谷和之	0	光熱水費等の引落し
残 高 合 計				0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	3,568,620	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,323,000	1,316,700	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	49,500	52,800	
計					1,372,500	4,938,120	0
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	2,953,500	0	
計					2,953,500	0	0
(16)公有財産購入費					0	0	
計					0	0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	3,994,270	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	99,000	629,750	
計					99,000	4,624,020	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	61,496,900	59,257,500	
計					61,496,900	59,257,500	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	51,370	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	0
計					51,370	0
(14)工事請負費					0	0
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	126,500	0
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					126,500	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	15,004,500	0
計					15,004,500	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係)ガスヒートポンプ点検業務委託	(株)ユアーズ静岡	1,443,200	1,279,300	0	1,279,300	一般	R6.6.3 ～ R6.8.26	R6.9.24	1,279,300	富士・富士宮地区6校のガスヒートポンプ点検業務	吉原高校 富士宮東高校 富士宮北高校 富士宮西高校 富岳館高校 富士特支富士宮分校
2	不燃物廃棄処分業務委託	(株)クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	R6.5.30 ～ R6.7.31	R6.7.18	90,200	産廃8m ³ 廃棄	随契1号(少額)
3	職員休養室物品移設業務委託	佐川急便(株)	92,400	92,400	0	92,400	随契	R6.6.3 ～ R6.7.12	R6.8.13	92,400	西昇降棟改築による職員休養室物品移設	随契1号(少額)
4	西昇降棟物品移設業務委託	佐川急便(株)	690,800	583,000	0	583,000	随契	R6.7.17 ～ R6.9.30	R6.10.18	583,000	西昇降棟改築による物品移設	随契1号(少額)
5	不燃物廃棄処分業務委託	(株)クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	R6.7.19 ～ R6.10.31	R6.10.21	90,200	産廃8m ³ 廃棄	随契1号(少額)
6	不燃物廃棄処分業務委託	(株)クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	R6.10.16 ～ R7.1.31	R7.1.29	90,200	産廃8m ³ 廃棄	随契1号(少額)
7	プロジェクト移設業務委託	東栄商工(株)	841,500	822,800	0	822,800	随契	R6.11.5 ～ R7.3.31	R7.4.10	822,800	新普通教室棟へのプロジェクト移設	随契1号(少額)
8	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)クリーンコントロールサービス	1,859,660	1,799,820	0	1,799,820	一般	R6.12.25 ～ R7.3.31	R7.4.16	1,799,820	普通教室棟解体による生徒用机椅子処分	
9	不燃物廃棄処分業務委託	(株)クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	R7.1.16 ～ R7.3.31	R7.4.16	90,200	産廃8m ³ 廃棄	随契1号(少額)
	事務関係計	9件	5,288,360	4,938,120	0	4,938,120				4,938,120		
	合計	9件	5,288,360	4,938,120	0	4,938,120				4,938,120		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	(事務関係)自家用電気工作物保安管理業務委託	加藤電気管理事務所加藤一彦	/	円	円	円	/	R6.4.1 ～ R7.3.31	/	/	自家用電気工作物保安管理	富岳館高校
参考2	消防用設備等保守点検業務委託	サンコー防災(株)	/	13,376,000	0	13,376,000	/	R6.4.1 ～ R7.3.31	/	/	消防用設備等保守点検	富士宮東高校
参考3	可燃物収集運搬処分業務委託	(株)静岡総合処理センター	/	運搬料 4,400円/1回 処分料 15.0円/1kg	0	運搬料 4,400円/1回 処分料 15.0円/1kg	/	R6.4.8 ～ R7.3.31	/	/	可燃物収集運搬処分	単価契約 富士宮西高校
参考4	プール浄化装置保守点検業務委託	有限会社石川メンテナンス	/	207,900	0	207,900	/	R6.4.12 ～ R6.10.31	/	/	プール浄化装置保守点検	富士東高校
参考5	警備業務委託	セコム(株)	/	5,808,000	391,710	6,199,710	/	R1.10.1 ～ R6.9.30	/	/	校舎機械警備	R1長期 富士高校
参考6	警備業務委託	セコム(株)	/	17,424,000	0	17,424,000	/	R6.10.1 ～ R11.9.30	/	/	校舎機械警備	R6長期 富士高校
	計	7件										

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) ガスヒートポンプ点検業務委託	(株)ユアーズ静岡	1,925,000	1,320,000	0	1,320,000	一般	R7.5.22 ～ R7.8.29		0	富士・富士宮地区6校のガスヒートポンプ点検業務	吉原高校 富士宮東高校 富士宮北高校 富士宮西高校 富岳館高校 富士特支富士宮分校
2	不燃物廃棄処分業務委託	(株)クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	R6.5.30 ～ R6.7.31		0	産廃8m ³ 廃棄	随契1号(少額)
3	エレベーター保守点検業務委託	(株)日立ビルシステム	513,700	513,700	0	513,700	随契	R7.6.1 ～ R8.3.31	R7.7.18	51,370 <small>小計</small>	エレベーター保守点検	随契1号(少額)
	事務関係計	3件	2,531,100	1,926,100	0	1,926,100				51,370		
	合計	3件	2,531,100	1,926,100	0	1,926,100				51,370		
整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
参考1	(事務関係) 自家用電気工作物保安管理業務委託	加藤電気管理事務所加藤一彦	/	円 1,916,200	円 0	円 1,916,200	/	R7.4.1 ～ R8.3.31	/	/	自家用電気工作物保安管理	富岳館高校
参考2	消防用設備等保守点検業務委託	サンコー防災(株)	/	13,246,200	386,100	13,632,300	/	R7.4.1 ～ R8.3.31	/	/	消防用設備等保守点検	富士宮東高校
参考3	可燃物収集運搬処分業務委託	有限会社東亜美装	/	運搬料 4,345円/1回 処分料 15.0円/1kg	0	運搬料 4,345円/1回 処分料 15.0円/1kg	/	R7.4.8 ～ R8.3.31	/	/	可燃物収集運搬処分	単価契約 富士宮西高校
参考4	プール浄化装置保守点検業務委託	有限会社石川メンテナンス	/	227,700	0	227,700	/	R7.4.15 ～ R7.10.31	/	/	プール浄化装置保守点検	富士東高校
参考5	警備業務委託	セコム(株)	/	17,424,000	0	17,424,000	/	R6.10.1 ～ R11.9.30	/	/	校舎機械警備	R6長期 富士高校
	計	5件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会総会・研究協議会	円 4,000	6. 5. 14
2	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	6. 7. 19
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 502名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,909,400	6. 7. 31
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 認定保留者1名還付)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.9.12
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 500名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	24,651,000	6.10.31
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 497名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,661,400	7.1.31
計		6件	/	/	59,257,500	/

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会総会・研究協議会	円 4,000	7. 5. 1
2	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会	2,000	7. 7. 11
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 505名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,998,500	7. 7. 31
計		3件	/	/	15,004,500	/

建 築 工

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 簡 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
参考 1	教育管理費	[第35-Z1502-01号] 富士宮北高等学校普通 教室棟新築他工事(建 築)	富士宮市宮 北町地内	円 1,021,383,000	円 990,000,000	円 0
参考 2	教育管理費	[第35-Z2407-01号] 富士宮北高等学校普通 教室棟新築他工事(電 気設備)	富士宮市宮 北町地内	113,289,000	93,665,000	8,855,000
参考 3	教育管理費	[第35-Z2407-01号] 富士宮北高等学校普通 教室棟新築他工事(機 械設備)	富士宮市宮 北町地内	101,134,000	100,100,000	264,000

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 簡 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
参考 1	教育管理費	[第36-Z1502-01号] 富士宮北高等学校普通 教室棟解体他工事	富士宮市宮 北町地内	82,742,000	60,170,000	0

事 調

(令和6年度)

額	契約 締結 方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 990,000,000	一般	平和建設(株)	R5. 10. 14 R7. 2. 14	円 990,000,000	校舎新築工事	済	本庁経理分 交通基盤部 建築工事課
102,520,000	一般	小林電気工業(株)	R5. 11. 2 R7. 2. 14	102,520,000	校舎新築工事	—	本庁経理分 交通基盤部 設備課
100,364,000	一般	(株)アオノ	R5. 10. 25 R7. 2. 14	100,364,000	校舎新築工事	—	本庁経理分 交通基盤部 設備課

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

額	契約 締結 方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
60,170,000	一般	(株)佐野総業	R7. 4. 1 R8. 1. 23	24,060,000	校舎解体工事	済	本庁経理分 財務部 建築工事課

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年3月31日 現 在		摘 要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 6,218,593		千円 1,129,854		千円 14,405		千円 7,334,042	
土地	m ² 108,332.76	6,000,552					m ² 108,332.76	6,000,552	
立木竹	本 1,450	19,454					本 1,450	19,454	
建物	8,530.63 14,912.26	165,756	905.10 2,524.84	1,129,854		9,382	9,435.73 17,437.10	1,286,228	
工作物	個 100	32,831				5,023	個 100	27,808	
普通財産		0						0	
土地	m ² 0	0					m ² 0	0	
建物	0 0	0					0 0	0	
工作物	個 0	0					個 0	0	
公有財産に 準ずるもの		101						101	
電話加入権	件 5	101					件 5	101	

公 有 財 産 調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区 分	令和7年3月31日 現 在		増		減		令和7年7月31日 現 在		摘 要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 7,334,042		千円		千円 27		千円 7,334,015	
土地	m ² 108,332.76	6,000,552					m ² 108,332.76	6,000,552	
立木竹	本 1,450	19,454			4	27	本 1,446	19,427	
建物	9,453.73 17,437.10	1,286,228			907.61 2,587.11		8,546.12 14,849.99	1,286,228	
工作物	個 100	27,808					個 100	27,808	
普通財産		0						0	
土地	m ² 0	0					m ² 0	0	
建物	0 0	0					0 0	0	
工作物	個 0	0					個 0	0	
公有財産に 準ずるもの		101						101	
電話加入権	件 5	101					件 5	101	

借地借家等調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	公衆用道路	富士宮市 宮北町230	公共用道路	同左	3.96 m ²	無償	無償	R4.4.1 ～ R9.3.31	静岡県知事 (富士土木事務所)	バス待合所
	計					3.96					
2	建物	倉庫建	富士宮市 宮北町230	ブロック造 平屋建	同左	<u>9.35</u> 9.35	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	体育器具庫
3	建物	倉庫建	富士宮市 宮北町230	木造 平屋建	同左	<u>11.32</u> 11.32	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	体育器具庫
4	建物	倉庫建	富士宮市 宮北町 230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>27.39</u> 27.39	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	体育器具庫
		小計				<u>48.06</u> 48.06					
5	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>91.14</u> 91.14	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	弓道場
6	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	木造プレハブ 平屋建	同左	<u>28.00</u> 28.00	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	女子更衣室
7	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>29.32</u> 29.32	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	女子更衣室
8	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>32.20</u> 32.20	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	部室
9	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>240.43</u> 240.43	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	投球練習場
10	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>127.33</u> 127.33	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	打撃練習場
11	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>270.39</u> 270.39	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	雨天練習場
12	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>63.79</u> 63.79	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	体育器具庫
13	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>56.52</u> 56.52	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	部室
14	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>39.14</u> 39.14	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	部室
15	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>10.47</u> 10.47	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	部室
16	建物	雑屋建	富士宮市 宮北町230	鉄骨造 平屋建	同左	<u>10.46</u> 10.46	無償	無償	R3.4.1 ～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	部室
		小計				<u>999.19</u> 999.19					
	計					<u>1,047.25</u> 1,047.25					

17	工作物	冷暖房装置	富士宮市 宮北町230			24個		5,689,039	R3.7.1 R16.6.30	三井住友ファイナンス&リース株式会社	普通教室空調
18	工作物	冷暖房装置	富士宮市 宮北町230			1個		4,362,443	R6.7.1 R19.6.30	NTT・TCリース株式会社 静岡支店	特別教室空調
19	工作物	雑工作物	富士宮市 宮北町230			9.83	無償	無償	R3.4.1 R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	野球場 散水設備
20	工作物	照明装置	富士宮市 宮北町230			6.44	無償	無償	R3.4.1 R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	テニスコート 夜間照明
21	工作物	困障	富士宮市 宮北町230			26.83	無償	無償	R3.4.1 R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	野球場 防球ネット
22	工作物	雑工作物	富士宮市 宮北町230			14.40	無償	無償	R3.4.1 R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	軍四郎胸像
23	工作物	雑工作物	富士宮市 宮北町230			1.51	無償	無償	R3.4.1 R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	玄関前立像
24	工作物	冷暖房装置	富士宮市 宮北町230			1.83	無償	無償	R3.4.1 R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校後援会理事長	地学準備室 保管空調
	計					25個 60.84		10,051,482			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
債務負担 行 為	静岡県立富士宮北高等 学校仮設校舎渡り廊下 賃貸借契約	仮設校舎渡り廊下 (契約日) 令和6年11月26日	27,390,000	円	円	円	円	円 16,355,900
長期継続 契 約	静岡県立富士宮北高等 学校外3校印刷機賃貸 借契約	職員室高速カラー印刷 機 4台 (契約日) 令和2年4月1日	5,636,400	1,127,280	1,127,280	1,127,280	1,127,280	1,127,280

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
債務負担 行 為	静岡県立富士宮北高等 学校仮設校舎渡り廊下 賃貸借契約	仮設校舎渡り廊下 (契約日) 令和6年11月26日	27,390,000	円 1,399,200	円 9,634,900	円	円	円
長期継続 契 約	静岡県立富士宮北高等 学校高速カラー印刷機 賃貸借契約	職員室高速カラー印刷 機 1台 (契約日) 令和7年4月1日	3,300,000	660,000	660,000	660,000	660,000	660,000

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用許可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	本 8	1,500	円 12,000	R7.4.1～ R12.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電柱 6本、支線 1条 その他の設備 0.11㎡
2	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 1		970	R7.4.1～ R8.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	公衆電話ボックス
3	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	本 28	1,500	42,000	R3.4.1～ R8.3.31	東京電力パワーグリッド(株) 富士支社長	本柱 12本、支線 10条 支線柱 4本、支柱 2本
4	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m 0.4		1,500	R3.4.1～ R8.3.31	東京電力パワーグリッド(株) 富士支社長	地下ケーブル
5	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 0.81		免 除	R7.4.1～ R8.3.31	国土交通省国土地理院 中部地方測量部長	二等水準点・標示板
6	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 1.67		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市長	広域避難場所案内板
7	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 0.8		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市長	同報無線屋外受信所
8	建物	事務所建	富士宮市宮北町230	RC	同左	㎡ 0.03		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市長	同報無線個別受信機
9	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 9.63		免 除	R6.4.1～ R11.3.31	富士宮市長	防災用備蓄倉庫
10	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 5.72		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市長	非常用給水タンク
11	建物	事務所建	富士宮市宮北町230	RC	同左	㎡ 0.38		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市長	地域防災無線機
12	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 9.96		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市長	防災倉庫
13	建物	事務所建	富士宮市宮北町230	RC	同左	㎡ 0.01		免 除	R4.4.1～ R9.3.31	富士宮市長	防災用デジタル簡易無線
14	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 0.44		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市長	道路照明灯
15	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 4.16		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市長	道路反射鏡
16	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 9.55		免 除	R7.4.1～ R10.3.31	富士宮市消防本部消防 長	公設防火水槽
17	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 3		免 除	R6.4.1～ R9.3.31	富士宮警察署長	交通標識 (使用承認)
18	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 0.75		免 除	R7.4.1～ R10.3.31	富士土木事務所長	道路照明灯 (使用承認)
19	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 0.2		免 除	R7.4.1～ R10.3.31	富士土木事務所長	道路照明灯 (使用承認)
20	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 28		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	女子更衣室
21	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 29.32		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	女子更衣室
22	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 91.14		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	弓道場
23	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 32.2		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	部室
24	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 240.43		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	投球練習場
25	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	㎡ 127.33		免 除	R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	打撃練習場

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用許可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
26	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 9.35	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	体育器具庫
27	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 11.32	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	体育器具庫
28	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 270.39	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	雨天練習場
29	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 9.83	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	散水設備
30	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 6.44	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	夜間照明
31	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 63.79	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	体育器具庫
32	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 26.83	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	防球ネット
33	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 56.52	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	部室
34	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 60.07	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	部室
35	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 14.04	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	胸像
36	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 1.51	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	立像
37	建物	事務所建	富士宮市宮北町230	RC	同左	m ² 1.83	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	自習室空調設備
38	建物	事務所建	富士宮市宮北町230	RC	同左	m ² 3.3	免 除		R7.4.1～ R10.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	後援会雇用職員 執務場所
	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 12.5					
39	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 1.48	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	富士宮北高等学校同窓 会長	記念碑
40	建物	事務所建	富士宮市宮北町230	RC	同左	m ² 3.3	免 除		R7.4.1～ R10.3.31	富士宮北高等学校PTA 会長	PTA雇用職員執 務場所
	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 12.5					
41	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 6.0		円 1,600,000	R5.4.1～ R8.3.31	ダイドードリンコ(株) 東海営業部	飲料用自動販売機
42	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 0.1	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	富士宮市二の宮区長	防犯灯
43	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 0.11	免 除		R7.4.1～ R12.3.31	富士宮市琴平区四町内 会長	防犯灯
44	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 41.71	免 除		R7.4.1～ R10.3.31	富士宮市消防本部消防 長	公設防火水槽
45	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 27.39	免 除		R3.4.1～ R8.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	体育器具庫
46	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 2.05	免 除		R7.4.1～ R12.3.31	(一社)富士宮北高等学校 後援会理事長	内野用スプリンク ラー
46	土地	学校敷地	富士宮市宮北町230	学校敷地	同左	m ² 56.41	免 除		R7.6.1～ R7.6.1	富士宮北高等学校PTA 会長	文化祭食品販売 所
合 計								1,656,470			

主要備品調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入 年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) ----- プレゼンテーション実習装置	商業科用 毎日 (年間約200日)	R 4 . 3	円 19,250,000
2	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) ----- 情報基礎実習装置	商業科用 毎日 (年間約200日)	H 27 . 12	10,249,200
3	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) ----- サーバー1台、パソコン45台外	普通科用 毎日 (年間約200日)	H 29 . 3	5,616,000
4	3-3	プロジェクター	プロジェクター ----- マクセル MC-AW3005J 17台	授業用 毎日 (年間約200日)	R 3 . 3	3,973,750
5	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) ----- iPad80台、充電保管庫2台	授業用 毎日 (年間約200日)	R 3 . 3	3,808,217
6	10-12	陸上競技用器具	棒高跳びマット ----- ニシ F511	部活用 (年間約50日)	H 14 . 1	2,190,000
7	2-2	放送装置	放送装置 ----- パナソニックWL-SA112	毎日 (年間約200日)	H 26 . 3	1,486,170
8	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	液晶ディスプレイ ----- 17型スクエア液晶ディスプレイ	普通科用 毎日 (年間約200日)	H 21 . 8	1,194,585
9	1-1	その他の机	その他の机 ----- パソコン机 25台 パロン	商業科用 毎日 (年間約200日)	H 20 . 3	1,176,000
10	10-12	トレーニング用器具	レッグカール・エクステンション ----- セノー BA2133	授業・部活用 毎日 (年間約200日)	H 1 . 12	1,091,800
11	10-12	トレーニング用器具	レッグプレス・バックキック ----- セノー BA2013	授業・部活用 毎日 (年間約200日)	H 1 . 12	952,750
12	10-12	トレーニング用器具	バタフライ・ローリング ----- セノー BA2413	授業・部活用 毎日 (年間約200日)	H 1 . 12	942,450
13	7-1	除草用機器	草刈り機 ----- CM2207HC	敷地管理用 週1回 (年間約50日)	R 7 . 3	930,000
14	3-3	プロジェクター	EPSONプロジェクター ----- EB-L210W	授業用 週2回 (年間約80日)	R 7 . 3	734,800
15	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー ----- 寒冷地用	校務用 (年間約50日)	H 28 . 2	669,600
16	3-3	プロジェクター	プロジェクター一式 ----- パナソニックPT-VW431D	授業用 週2回 (年間約80日)	H 26 . 3	554,400
17	2-1	その他の情報処理機器	マークカードリーダー ----- システムハウスハイネSR-430	授業・進路用 (年間約50日)	H 27 . 3	554,256
18	3-3	プロジェクター	EPSONプロジェクター ----- EB-L210W	校務・授業用 週1回 (年間約50日)	R 7 . 3	550,000
19	3-3	プロジェクター	EPSONプロジェクター ----- EB-L210W	校務・授業用 週1回 (年間約50日)	R 7 . 3	550,000
20	2-1	その他の情報処理機器	校内LANサーバー等 -----	毎日 (年間約240日)	H 29 . 3	475,956

職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	小谷 和之		□□□	年月 □.□	□□□ □□□□
2	副校長	長谷川 祥吾		□□□	□.□	□□□ □□□□
3	教頭	齋 藤 愛	保健体育	□□□	□.□	□□□
4	事務長	鈴木 道子		□□□	□.□	□□□ □□□□
5	教諭	鈴木 比呂美	国語	□□□	□.□	□□□
6	教諭	佐野 信行	地歴・公民	□□□	□.□	□□□
7	教諭	石井 泰富	地歴・公民	□□□	□.□	□□□
8	教諭	影山 貴司	保健体育	□□□	□.□	□□□
9	教諭	佐藤 れい子	国語	□□□	□.□	□□□
10	教諭	小杉 哲也	商業(商業)	□□□	□.□	□□□
11	教諭	山口 裕子	英語	□□□	□.□	□□□
12	教諭	大勝 良則	保健体育	□□□	□.□	□□□
13	教諭	望月 美奈江	英語	□□□	□.□	□□□
14	教諭	湯川 司	商業(商業)	□□□	□.□	□□□
15	教諭	市川 貴	保健体育	□□□	□.□	□□□
16	教諭	矢部 由子	英語	□□□	□.□	□□□
17	教諭	渡邊 才也	理科	□□□	□.□	□□□
18	教諭	望月 智美	英語	□□□	□.□	□□□
19	教諭	山田 佳代	商業(商業)	□□□	□.□	□□□
20	教諭	多田 聡哉	商業(商業)	□□□	□.□	□□□
21	教諭	勝 又 洋	家庭	□□□	□.□	□□□
22	教諭	杉山 達己	国語	□□□	□.□	□□□
23	教諭	長田 淳子	商業(商業)	□□□	□.□	□□□
24	教諭	江川 久美子	数学	□□□	□.□	□□□
25	教諭	鈴木 啓介	数学	□□□	□.□	□□□
26	教諭	岩田 明可	数学	□□□	□.□	□□□
27	教諭	佐藤 詔子	英語	□□□	□.□	□□□
28	教諭	寺島 和広	商業・情報	□□□	□.□	□□□
29	教諭	井上 亮	保健体育	□□□	□.□	□□□
30	教諭	野村 真義	地歴・公民	□□□	□.□	□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
31	教諭	小柳津 孟士	国語	□□□	□.□	□□□
32	教諭	望月 陽介	保健体育	□□□	□.□	□□□
33	教諭	勝亦 勇士	数学	□□□	□.□	□□□
34	教諭	海瀬 滝	保健体育	□□□	□.□	□□□
35	教諭	金崎 高広	地歴・公民	□□□	□.□	□□□
36	教諭	芥川 遼甫	理科	□□□	□.□	□□□
37	教諭	藁科 悠花	理科	□□□	□.□	□□□
38	教諭	加藤 友喜	地歴・公民	□□□	□.□	□□□
39	教諭	石井 菜摘	国語	□□□	□.□	□□□
40	教諭	竹本 遥	地歴・公民	□□□	□.□	□□□
41	教諭	岡野 雄樹	数学	□□□	□.□	□□□
42	養護教諭	神尾 高子	養護	□□□	□.□	□□□
43	主任実習助手	松村 敦子	商業(商業)	□□□	□.□	
44	主査	遠藤 裕紀子	庶務	□□□	□.□	□□□ □□□□
45	主査	望月 里奈	管財	□□□	□.□	□□□ □□□□
46	主事	小野田 泰地	会計	□□□	□.□	□□□ □□□□
平均年数					□.□	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(任)	監物京子	英語	□□□	□.□	□□□
2	教諭(臨)	伊藤年彦	商業(商業)	□□□	□.□	□□□
3	教諭(臨)	田中景子	国語	□□□	□.□	□□□
4	外国語指導講師	チューカイ	英語	□□□	□.□	□□□
5	非常勤講師	飯島芳夫	理科	□□□	□.□	□□□
6	非常勤講師	池田崇明	音楽	□□□	□.□	□□□
7	非常勤講師	大森泉	美術	□□□	□.□	□□□
8	非常勤講師	由井瑞穂	書道	□□□	□.□	□□□
9	非常勤講師	中村あゆみ	家庭	□□□	□.□	□□□
10	部活動指導員	西尾省吾	男子バスケットボール	□□□	□.□	□□□
11	部活動指導員	影山貴司	野球	□□□	□.□	□□□
12	非常勤嘱託員	遠藤範子	就学支援金	□□□	□.□	□□□
13	非常勤労務職員	篠原史郎	用務	□□□	□.□	
14	非常勤労務職員	篠原照明	用務	□□□	□.□	
15	非常勤労務職員	小林光輝	用務	□□□	□.□	□□□
16	学校医 健康管理医	戸塚盛計	内科	□□□	□.□	□□□
17	学校医	天神光充	眼科	□□□	□.□	□□□
18	学校医	鈴木高広	耳鼻科	□□□	□.□	□□□
19	学校医	森本達也	歯科	□□□	□.□	□□□
20	学校薬剤師	渡辺恭秀		□□□	□.□	□□□

職員の年齢調

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	2	
30歳以上40歳未満	12	
40歳以上50歳未満	8	
50歳以上56歳未満	13	
56歳以上61歳未満	5	
61歳以上	6	うち暫定再任用職員6人
計	46	平均年齢 47.8歳

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 45 人
	職員数 46 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

□□

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	13(2)人
D 2		要経過観察	22(9)人
D 3		医 療 不 要	10(5)人
区 分 者 計			45(16)人
未区分者数			1人
合 計			46(16)人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

該当なし

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 □□人
 イ 新規採用 □□人
 ウ 自己都合による未受診 □□人
 エ その他 □□人
 ()